

令和8年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜

試験問題

【科目】 総合問題

【時間】 90分

- 【注意】
- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開かないでください。
 - 2 この問題冊子は、全部で8ページあります。
落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は、監督者に申し出てく
ださい。
 - 3 解答用紙は、3枚あります。
すべての解答用紙の指定箇所に受験番号を記入してください。
 - 4 問題の解答は、解答用紙に記入してください。
 - 5 下書き用紙は3枚配付されます。
下書き用紙に解答を記入しても無効です。
 - 6 試験終了後、この問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。
 - 7 解答は横書き、解答用紙は一部問題を除き一行20字です。
 - 8 英数字は、英字の大文字および小文字ならびに算用数字とともに、1マス
に2文字（半角）まで記述してもよい。

白 紙

令和8年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

[I] 次の文章を読んで、設問1～設問3に答えなさい。

私たちは普段何気なく「現場」という言葉を使ったり、耳にしたりしている。新聞、雑誌、テレビなどのメディアでも、現場という言葉が頻繁に登場する。

企業のみならず一般社会においても、現場という言葉がよく飛び交う。事件が起これば犯行現場、映画やテレビの世界では撮影現場、さらには医療現場、教育現場など、いたるところに現場が存在する。

(中略)

同じことは企業にも当てはまる。ほとんどの日本企業が、現場を重視する経営を指向してきた。

これがいつのころからなのか、誰がいはじめたのかは定かではないが、日本が近代国家をめざし、工業生産に力を入れはじめたころには現場重視の考え方が存在した。松下幸之助、本田宗一郎、豊田喜一郎といった戦後の偉大な経営者たちは、ことごとく現場を尊重し、現場の力を最大限に引き出す経営に力を注いだ。

いまとなっては、日本の企業人にとって現場という言葉は、空気のように当たり前のものである。あまりにも当たり前すぎて、そもそもそれが何を意味するのかをあまり深く考えることはない。しかし、①現場という言葉の使い方は千差万別であり、その定義はじつに曖昧である。

現場を無理やり定義しようとするれば、「人々が何かを行っている場所」「ある事柄が起きている場所」と説明できるが、これでは日本人のもっている現場に対する感情や思い入れは表現できない。たんに「行っている」や「起きている」以上の何かを含んでいるのは間違いないが、それを表現するのはじつに難しい。

現場という言葉をみんなが連呼しているにもかかわらず、企業の組織図を見ても、現場という部署や部門は存在しない。現場とはあくまでも一般的な総称であり、抽象的、観念的な概念である。

「現場に行ってきます」といえば「場所」を表し、「現場の声を聞け」といえばそこにいる「人たち」(集団)を指す。「場所」なのか「人」なのかさえ判然としない。

(中略)

令和8年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

「現場とは何か」を知るには、「現場以外」を考えることも重要だ。

現場という言葉と対立する概念として出てくる言葉に「本社」がある。

似たような言葉として、本店や本部という言葉も使われる。「本社は何もわかっていない」「本部は何を考えているんだ」という言い方をよくするが、このときの本社や本部は、いったいどこを指しているのだろうか。

一般には「登記上の中枢事業所」を本社と呼ぶ。しかし、ロケーションとしては本社の一部であっても、「現場的」な業務に従事している部署や部門もある。「本社 vs 現場」は単純にロケーションによる違いでもない。

日本企業の現場というところは、本当に不思議なところだ。ものづくりの現場、サービスの現場、小売の現場など、担っている役割や行われている業務は異なるが、その根底にある生真面目な勤勉性やチームワークは世界に誇るべきものだ。現場は日本企業の屋台骨であり、象徴的な存在である。

(中略)

抽象的で曖昧かつ複雑な概念である現場という言葉は、英語などの外国語に翻訳するのはとても往生する。本社は「Headquarter」で問題ないのに、現場に当てはまる言葉は見当たらない。

「Workplace (職場)」や「Frontline (最前線)」「Field (実地・戦場)」といった直訳的な言葉ではそのニュアンスは伝わらない。日本語の現場という言葉には、たんに「場所」を示すだけではない、何かほかの要素が秘められている気がする。

翻訳できないということは、現場という概念そのものが日本独自のものだともいえる。簡単には説明できないもの、翻訳できないものだからこそオリジナリティが秘められているともいえる。

実際、米国企業でありながら、現場を重視し、日本企業のよさを積極的に取り入れようとしているアマゾンでは「Gemba」と表記し、そのまま使っている。直訳したのでは、大事なニュアンスが抜け落ちてしまうと考えているからだろう。現場はあくまでも「Gemba」なのだ。

多くの日本企業は「現場・現物・現実」という三現主義を標榜し、大切にしている。「現実の場所」「現実の物」そして「現実そのもの」を重視し、ありのままの現実と正面から向き合うことを経営の指針としている。

令和8年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

ホンダでは現場という言葉の真意をなんとか伝えようと「The Actual Place」と訳している。一般的に考えれば、「The Real Place」と訳してしまいそうだが、「Real」ではなく「Actual」としているところがポイントだ。

知識創造理論の大家・野中郁次郎先生は、②「現実」という言葉には「リアリティ」と「アクチュアリティ」の2つの意味があると指摘し、その違いを次のように説明している。

リアリティ (reality) とは、主客分離で対象化して見る現実 (名詞) だ。完了形で固定化できるモノ的現象なので、科学的分析ができる。

一方、アクチュアリティ (actuality) とは、「いま・ここ」の時点で進行している出来事の只中で、身を持って経験している現実 (動詞) であり、一瞬も固定できないコト的現象である。

この指摘は現場の本質を考えるうえで、とても重要だ。

現場は、流動的に絶え間のない変化の中で何かが起きている「The Actual Place」であり、完了形で固定化されている「The Real Place」ではないのだ。企業の現場は常に動いているものであり、「生き物」である。

(中略)

野中先生は現実、現場を重視するビジネスリーダーについてこう述べている。

実践知のリーダーには、時々刻々と変化する個別具体の現実の背後にある本質を直観する状況洞察能力が求められる。それは、「1回性」の出来事に「普遍」を洞察することだ。

日本企業が現場を重視するのは、現在という瞬間、断面に固執しているからではない。「いま・ここ」を生き、絶え間なく変化する現場を通してこそ、未来を見ることができると考えているからなのだ。

(遠藤功著『現場論 「非凡な現場」をつくる論理と実践』一部改変)

令和8年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

設問 1

下線部①に「現場という言葉の使い方は千差万別であり、その定義はじつに曖昧である」とあるが、ここでの曖昧とはどういうことか、本文に即して 120 字以内で説明しなさい。

設問 2

下線部②の「リアリティ」と「アクチュアリティ」は、「現実」の捉え方の違いを表している。この違いを踏まえ、「現場」の「現実」をどのように捉えるべきか、本文に即して 180 字以内で述べなさい。

設問 3

現場の力を引き出す経営とはどうあるべきか、本文に即して 200 字以内で述べなさい。

令和8年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、設問1～設問3に答えなさい。

セリーナ・ウィリアムズがウィンブルドン選手権でプレーをするとき、彼女は芝生の上を長い時間走り回っている。史上最高のテニス・プレーヤーの1人であり、彼女の打つ速く正確なショットは、たいていの運動選手たちには夢のようなレベルである。おそらく、他の運動をさせても上手にこなすだろう。たとえば、他の誰よりも速く庭の芝を刈ることができるかもしれない。しかし、彼女が芝刈りを上手にできるといっただけで、彼女が自分の庭の芝刈りをすべきだということになるだろうか。

機会費用と比較優位の概念を使うと、この問題に答えることができる。セリーナは2時間で芝刈りをすませられるとしよう。同じ2時間をテレビ・コマーシャルの撮影に使えば、彼女は3万ドルを稼ぐことができる。一方、隣に住むフォレスト・ガンブという男の子は、セリーナの庭の芝を刈るのに4時間かかり、その4時間をマクドナルドで働くと50ドル稼ぐことができる。

この例では、セリーナは、芝刈りをより短い投入時間で片付けることができるので、芝刈りに関して絶対優位を持っている。しかし、セリーナにとっての芝刈りの機会費用は3万ドルであり、フォレストにとっての芝刈りの機会費用は50ドルであるから、フォレストが芝刈りに関して比較優位を持っているのである。

この場合の交易の利益は巨大である。セリーナは、自分で芝刈りをする代わりにコマーシャル撮影に行き、フォレストを雇って芝刈りをさせるべきである。セリーナがフォレストに対して50ドル以上3万ドル以下の手間賃を支払う限り、2人はどちらも得をする。

人は特化と交換によって利益を得ることができる。異なる国同士の国民もまったく同様である。アメリカ人が享受している多くの財は外国製品であり、また多くのアメリカ製品が海外で販売されている。外国で生産されて国内で販売される財のことを輸入品と呼び、国内で生産されて外国で販売される財のことを輸出品と呼ぶ。

国々が交易（貿易）によって利益を得られることを理解するために、日本とアメリカの2国と、食料と自動車の2財だけがある世界を考えよう。自動車生産に関して、両国の技量は同じだとしよう。日本の労働者もアメリカの労働者も、1人当たり1カ月に1台の自動車を生産することができる。一方、食料の生産には、広くて肥沃な土地を持つアメリカのほうが適しているとしよう。アメリカの労働者は1人当たり1カ月に2トンの食料を生産できるが、日本の労働者は1人当たり1カ月に1トンの食料

令和8年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

しか生産できない。

比較優位の原理によれば、ある財の生産に関して機会費用が(1)いほうの国が、その財を生産すべきである。アメリカにおける自動車1台の機会費用は食料(2)トンであり、日本における自動車1台の機会費用は食料(3)トンなので、日本は自動車の生産において比較優位を持っている。日本は国内で必要とする以上に自動車を生産し、その一部をアメリカに輸出すべきである。同様に、日本における食料1トンの機会費用は自動車(4)台であり、アメリカにおける食料1トンの機会費用は自動車(5)台なので、アメリカは食料の生産において比較優位を持っている。アメリカは国内で消費する量以上に食料を生産し、その一部を日本へ輸出すべきである。①特化と貿易を通じて、両国ともにより多くの食料と自動車を得ることができるのである。

もちろん、現実においては、国際貿易に関わる問題はこの例で示されたよりも複雑である。国際貿易の問題のなかで最も重要なのは、どの国も異なる利害関係を持つ多様な国民から構成されているということである。②国際貿易は、一国全体をより豊かにすると同時に、国民の一部分を貧しくすることがある。アメリカが食料を輸出して自動車を輸入する場合、アメリカのフランク^{註1}への影響とアメリカの自動車産業の労働者への影響は違うものになる。しかしながら、政治家や評論家がしばしば述べる意見とはまったく反対に、国際貿易は戦争ではない。戦争は勝利する国と敗北する国を生み出すが、③国際貿易はすべての国々をより繁栄させるのである。

注1 原文において「フランク」とは、農夫である。

(N・グレゴリー・マンキュー著、足立英之、石川城太、小川英治、地主敏樹、中馬宏之、柳川隆訳『マンキュー入門経済学(第3版)』一部改変)

令和8年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

設問1

文章中の空欄(1)～空欄(5)に当てはまる字句・数字を答えなさい。

設問2

本文では、下線部①「特化と貿易を通じて、両国ともにより多くの食料と自動車を得ることができる」とされている。ここで、日本の労働者が10人、アメリカの労働者が30人とする。次に示す表1は比較優位を持っている財の生産に特化しない場合の両国の生産量を表している。表2に比較優位を持っている財のみの生産に特化する場合の両国の各財の生産量を記入しなさい。また、食料1トンと自動車1台が同じ価値とした場合の両国の価値の合計を比較し、下線部①について120字以内で説明しなさい。

表1

| | 食料(トン) | 自動車(台) |
|-----------|--------|--------|
| 日本(10人) | 5 | 5 |
| アメリカ(30人) | 30 | 15 |
| 合計 | 35 | 20 |

表2

| | 食料(トン) | 自動車(台) |
|-----------|--------|--------|
| 日本(10人) | | |
| アメリカ(30人) | | |
| 合計 | | |

令和8年度 新潟大学 経済科学部

学校推薦型選抜
試験問題

総合問題

設問3

本文では、下線部②で「国際貿易は、一国全体をより豊かにすると同時に、国民の一部分を貧しくすることがある」と述べられている。現在、わが国では、米について1kgあたり341円の関税が設定されている^{注2}。仮に「食料の生産には、広くて肥沃な土地を持つアメリカのほうが適している」とき、関税をどのように変化させるのが望ましいと考えられるか。また、その場合、「一国全体をより豊かにする」とはどのようなことか、「国民の一部分を貧しくする」とはどのようなことか、500字以内で答えなさい。なお、下線部③「国際貿易はすべての国々をより繁栄させる」という考え方が国際的にも共有されているとする。

注2 農林水産省『食料・農業・農村政策審議会食糧部会資料（令和7年1月31日開催）』の「コメの輸入制度（参考資料6「米をめぐる状況について」147頁）」より。この関税は、ミニマム・アクセス米及びTPP11豪州枠以外の輸入に対して設定されている。